

駐日大使の言葉 Le mot de l'Ambassadeur

2014年以來、日本とフランスはいくつかの都市において、男女間の平等をテーマに対話を重ねてきました。社会、とりわけ労働市場における女性の地位は、日本にとっての根本的な課題であり、政府は女性の仕事を優先課題の一つとし、より広く働き方の改革に向けた政策を打ち出しています。フランスでは、女性の社会進出と経済的分野での進歩が見られてはいますが、本当の平等に達するには、まだ努力を続けなければなりません。ジュリア・ムソンやアントワヌ・ド・ガブリエリのようにこの問題に専心する人々による素晴らしいイニシアティブも始まっています。私は、彼らと経験を共有し、対話することにより、両国が互いに学びあえることを喜ばしく思っています。フランス大使館では、今後も女性の活躍についての日仏対話を継続していくことを願っており、10月4、5の両日に開催される討論会は、その新たな道筋を示すものとなることでしょう。

駐日フランス大使 ローラン・ピック



概要

国民の高齢化とそれに伴う生産人口の低下に直面する日本にとり、女性の労働は国の未来にかかわる重要なテーマです。しかしながら、いまだに女性の多くが、仕事か家庭生活かの二者択一を迫られています。フランスでは、子供を持つ女性の多くは働いていますが、フルタイムでの就労を希望しながらも、実際には、配偶者より育児や家事に多くの時間を割き、パートタイムでしか働けない女性も多くいます。日仏両国において、女性が安定した内容のよい仕事に就くための、またワークライフバランスの向上を目指すための個人的、公共の取組が行われてきました。東京と福岡で開催される討論会では、この変革に前線に取り組んできたパネリスト達が登壇します。どうすれば、女性がよりリーダーシップを持つことができるのでしょうか？それにより、男性の位置も変わるのでしょうか？女性の仕事は、個としての開花と仕事の能力の両立を目指すための、より大きな変革のエンジンとなり得るのでしょうか？これらの問題について、討論会で意見を交わします。

共催：在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本、上智大学、九州大学EUセンター（ジャンモネ CoE九州） オフィシャル・パートナー：ヴェオリア・ジャパン株式会社、全日本空輸株式会社、九州フランスパートナークラブ 後援：内閣府男女共同参画局、上智大学ダイバーシティ推進室
Co-organisateurs : Ambassade de France / Institut français du Japon, Université Sophia, Centre de l'UE / Université du Kyushu
Partenaires : Veolia Japan, ANA, Club des Partenaires de la France dans le Kyushu
Parrainage: Bureau de l'égalité des genres du gouvernement, Bureau pour la promotion de la diversité de Sophia School Corporation

FUKUOKA | 2017年10月4日(水) | 17:30-19:30

アクロス福岡(〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1丁目1-1)

Mercredi 4 octobre 2017 | 17h30-19h30 | Acros Fukuoka Arena Hall

入場無料/席数限定

Entrée libre dans la limite des places disponibles, réservation recommandée

お問い合わせ・ご予約 renseignements et réservations

アンスティチュ・フランセ九州 Institut français du Japon - Kyushu (Tel : 092-712-0904)



TOKYO | 2017年10月5日(木) | 18:00-20:00(開場 17:30)

上智大学 国際会議場(〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町7-1 上智大学四谷キャンパス2号館17階)

Judi 5 octobre 2017 | 18h-20h | Université Sophia Bâtiment No. 2, 17F

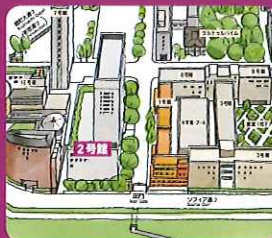
入場無料、座席に限りがあるのでオンライン登録をお勧めします

Entrée libre, inscription recommandée sur :

<http://www.institutfrancais.jp/femmes-travail/>

お問い合わせ renseignements

dg.debat.contact@institutfrancais.jp



日仏討論会 DÉBATS FRANCO-JAPONAIS

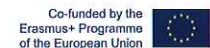
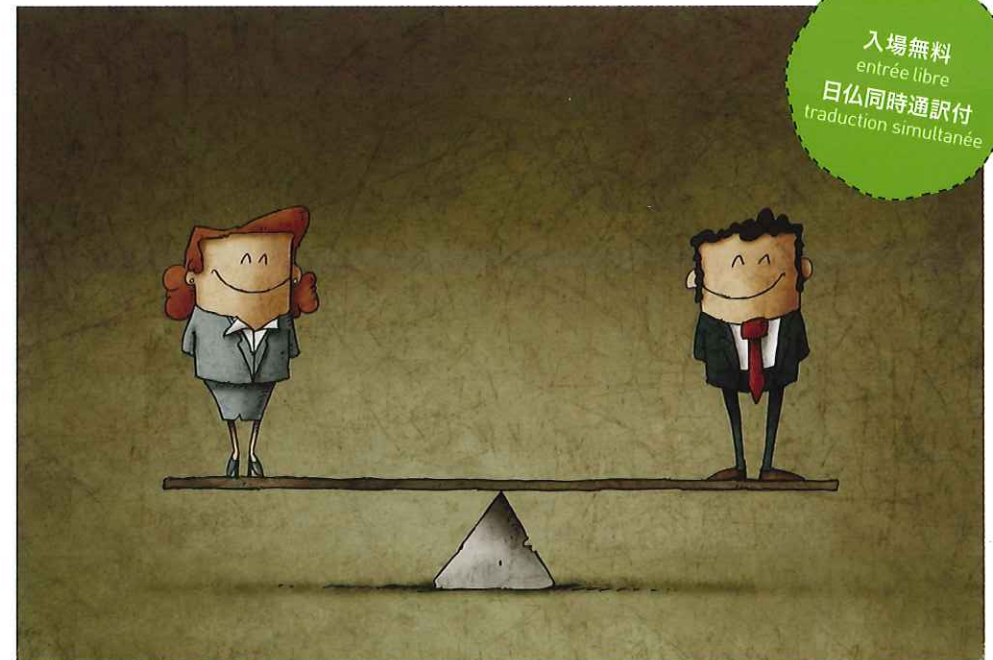
新しい働き方に向けて 女性は変革の鍵？

**LES FEMMES, MOTEURS DU CHANGEMENT
DANS LE MONDE DU TRAVAIL ?**

2017. **10.4** <水> || 17:30-19:30 || 会場=アクロス福岡 円形ホール
Mercredi 4 octobre 2017 || 17h30-19h30 || Acros Fukuoka Arena Hall

2017. **10.5** <木> || 18:00-20:00 || 会場=上智大学 国際会議場
Judi 5 octobre 2017 || 18h-20h || Université Sophia, Tokyo

入場無料
entrée libre
日仏同時通訳付
traduction simultanée



福岡/東京 共通パネリスト PANÉLISTES À FUKUOKA ET TOKYO



ジュリア・ムゾン 女性とパワー社創立者
Julia MOUZON, fondatrice de l'entreprise Femmes & Pouvoir

ポリテクニクで学び、財務省でキャリアをスタートした後、意欲に満ちていても、女性がキャリアを築くことの難しさを痛感する。フェミニストの団体で活動の後、2012年に29歳で、女性リーダーの養成のための女性とパワー社を設立。女性政治家と管理職の女性の意見交換とネットワークの場(www.elueslocales.fr)を提供している。一児の母でもあり、ソーシャル起業やリーダーシップをテーマにスタートアップや大企業で多数講演を行っている。



アントワヌ・ド・ガブリエリ ハッピーメンネットワーク創設者
Antoine de GABRIELLI, directeur de l'entreprise Companieros

経済商学専攻後、マーケティングとコンサルティング業界で勤務の後、2000年にダイバーシティ経営教育のための企業コンパニエロスを設立。2013年に男女間の仕事における平等についてのディスカッションと研修のサークル「ハッピーメン」を設立。12の企業による支援のもと、男女の雇用比率や仕事における平等の推進のため活動。男女が、仕事と私生活のいずれかを犠牲にすることなく活躍することを目指している。

福岡パネリスト PANÉLISTES À FUKUOKA



井手季彦 西日本新聞 TNC文化サークル専務取締役
Suehiko IDE, Directeur gérant du Centre culturel TNC du journal Nishinippon

九州大学理学部卒業後、西日本新聞社入社。編集センター、日田支局、久留米総局、国際部などを経て2004年8月から2007年までパリ支局長。帰国後、編集センター長、夕刊編集長を経験し現在に至る。日本大学大学院総合社会情報研究科修士課程を2009年修了。日本国際情報学会会員。テレビ西日本「もち浜スタア方版」のコメントーターも務める。



福島都茂子 宮崎産業経営大学教授
Tomoko FUKUSHIMA, professeur à l'Université d'industrie et de management de Miyazaki

京都大学博士(法学)。フランス政治史、家族政策、国際政治学専門。大阪大学法学部卒業後、化粧品会社勤務等を経てフランス留学。帰国後、フランス政治への関心から大学院に進学。京都大学大学院法学研究科で博士号を取得(法学)。京大助教や立命館大学法学部非常勤講師などを経て、現在、宮崎産業経営大学法学部教授。主な著書『フランスにおける家族政策の起源と発展』法律文化社(2015)。

司会 MODÉRATRICE



八谷まち子 九州大学EUセンター アドバイザー
Machiko HACHIYA, conseillère du Centre de l'UE, Université du Kyushu

1986年から1993年まで、駐日欧州委員会(EC)日本代表部(現、駐日欧州連合(EU)日本代表部)勤務、1995年東京大学大学院法学政治学研究科専修課程修了(修士)、1998年九州大学大学院法学研究科博士課程後期単位取得、1998年より九州大学法学研究院勤務、2011年より「EUIJ九州」代表、2015年9月に退職(教授)、2016年より九州大学EUセンターアドバイザー(ジャンモネCoE九州)。専門は、EUの制度および政策決定過程。

東京パネリスト PANÉLISTES À TOKYO



三浦まり 上智大学教授
Mari MIURA, professeur à l'Université Sophia

上智大学法学部教授。慶應義塾大学法学部政治学科卒、カリフォルニア大学バークレー校にてPh.D.(政治学)取得。東京大学社会科学研究所機関研究員を経て現職。専門は現代日本政治論、福祉国家論、ジェンダーと政治。主著に『私たちの声を議会へ：代表制民主主義の再生』(岩波書店、2015年)、『日本の女性議員：どうすれば増えるのか』(編著、朝日選書、2016年)、『ジェンダー・クォータ：世界の女性議員はなぜ増えたか』(共編著、明石書店、2014年)、Welfare Through Work: Conservative Ideas, Partisan Dynamics, and Social Protection in Japan (Cornell University Press, 2012)。



山田正人 イクメン官僚
Masato YAMADA, fonctionnaire « Ikumen »

1967年生まれ。1991年、通商産業省(現・経済産業省)に入省。第三子誕生を機に2004年11月から1年間育児休業を取得。その様子をまとめた著書『経産省の山田課長補佐、ただいま育児中』(日本経済新聞社、文春文庫)を上梓。復帰後は、につぼん子育て応援団や内閣府少子化危機突破タスクフォース委員、厚労省イクメンプロジェクトメンバーとしても活躍。2009年から2012年まで横浜市副市長を務めたのち、現在は経済産業省傘下の独立行政法人に勤務。

司会 MODÉRATRICE



浜田敬子 朝日新聞記者
Keiko HAMADA, rédactrice en chef de Business Insider Japan

1989年朝日新聞社入社。前橋・仙台支局、週刊朝日編集部などを経て99年からAERA編集部。女性の働き方や国際ニュースを中心に取材。副編集長、編集長代理を経て2014年から編集長。17年4月からオンライン経済メディア「Business Insider Japan」統括編集長に就任。テレビ朝日「羽鳥慎一モーニングショー」の水曜コメントーターなども務める。

開会の言葉
閉会の言葉

大塚寿郎[上智大学学務担当副学長] ローラン・ピック[駐日フランス大使]
武川恵子[内閣府男女共同参画室局長]